

# 2025年度(平成7年度)学校評価自己評価表

城西中学校区	校番9	福山市立 泉小学校
最終更新日		2026年(令和8年)2月25日

## I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

## II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>○各校とも児童生徒が意欲的に授業や行事に取り組んでいる様子が見られ、一定の成果が出ている</p> <p>○各校が、地域の施設に出向いたり、地域の方を招いたり、地域とのかかわりを重視した学習活動に工夫して取り組んでいる</p> <p>●学校間、地域が連携を深め、より多くの子どもたちが地元の中学校で過ごせるように魅力づくりを進めている</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○「子ども主体の学び」を目指し、小・中学校が連携して研究・実践を行い、授業改善を進めており、児童生徒の授業に対する意欲、積極性は高まっている</p> <p>○行事等を通して、小・中学校とも集団づくり、児童生徒の主体的な活動に取り組んでおり、意欲的に頑張る児童生徒は増えている</p> <p>●すべての学習の基盤となる「ことば」にこだわり、伝えたり、読み取ったりする力を育てていきたい</p> <p>●引き続き、不登校児童生徒への丁寧な取組が必要である</p>	<p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>コミュニケーション力・表現力・忍耐力</p> <p>地域に愛着と誇りを持ち、心豊かにたくましく生きる子ども</p> <p><input type="checkbox"/>自己肯定感を高める(児童会・生徒会の合同活動・中学校オープンスクール)</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニケーション力・表現力・忍耐力をつける(幼保小中連携教育・合同授業研究)</p> <p><input type="checkbox"/>健康への意識を高め、体力向上を図る</p> <p>(体力向上の取組・体力テストの分析・生活改善の取組・校区保健だよりの発行)</p>
--	---	---	--

## III 自校

<p>ミッション</p> <p>児童が自ら学び、相互にかかわり高め合う教育活動を行うことで、次世代を担う人材を育成する。</p>	<p>育成する力 資質・能力</p>	<p>コミュニケーション力・表現力・忍耐力</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自ら学び、仲間とともにたくましく生きぬく子どもを育てる</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>○自分や他者を理解し、自ら考え判断し、表現する子ども</p> <p>&lt;表現力&gt;</p> <p>様々な場面で言葉や技能を用いる。</p> <p>信頼できる知識や情報を収集し活用する。</p> <p>&lt;コミュニケーション力&gt;</p> <p>目標を達成するために、他者と協働する。</p> <p>意見の対立や理解の相違を互いの違いを認め合いながら解決する。</p> <p>&lt;忍耐力&gt;</p> <p>感情をコントロールし、ルールを踏まえて建設的な意見を述べる。</p> <p>見通しをもって計画的に行動し、軌道修正しながら最後までやり遂げる。</p>
<p>現状</p> <p>&lt;児童&gt;</p> <p>自己表現の仕方やコミュニケーションの取り方に課題がみられる。このことにより、友達に自分の思いを上手く伝えられずに、相手に勘違いされトラブルになることがある。また、学力面では、標準学力テストにおいて、学校の全体的に読解力や活用問題に課題がみられる。このことから、本校の児童は、言葉を正しく理解し、活用できていないことが課題だと考えられる。</p> <p>新体力テストでは、走力や持久力などに課題がみられた。体育の授業でこれらの課題が改善できる運動を継続して実施している。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>・児童の振り返りから授業改善を図る。今年度も引き続き、アセスアンケートや児童の振り返りから、児童の実態を把握し、そこから児童のつまずきを分析し、より良い学習ができるように環境の改善を図る。</p> <p>・国語科を中心に各教科で「言葉」の習得をねらった言語活動を取り入れた授業を行う。また、学びタイムでは、言葉の意味調べや音読などを行い、言葉の習得を図る。</p> <p>・各学年の教材研究をする際には、低・中・高学年の効果的な言語活動による読む力の育成に重点をあてる。</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>「わかった」「できた」と実感できる授業づくり ～効果的な言語活動による、「とことん読む」学習活動を通して～</p> <p>内容等</p> <p>・国語科を中心に「言葉」の習得をねらった言語活動の充実</p> <p>・低・中・高学年の効果的な言語活動による読む力の育成を目指した授業づくり</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>・分からない言葉を調べたり、学んだ言葉を活用したりすることができる授業</p> <p>・意見の相違を互いに認め合いながら、仲間との対話が深まる授業</p> <p>・児童が「わかった」「できた」「次はこうしたい」という思いや自信をもつことができる授業</p>

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 泉小学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
							□指標に係る取組状況	加減評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	加減評価	達成評価	総合評価	改善方策
3	課題を見出し、解決に向けて挑戦する意欲と諦めずに学び続ける力を付ける。	★	継続	児童一人一人の知っていることを生かした学びを展開し、児童が自らの伸びや成長を実感することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートなどから児童の実態を把握し、授業改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケート「学びが面白い」肯定的回答85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケート(7月)85.3%…アンケート等から児童の実態を把握し、授業改善を図ることができた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート等から児童の実態の把握をするだけでなく、手立てが必要な児童へ個別に声かけや個別指導を行う。</li> <li>児童一人一人の知っていることを生かした学びになるように授業づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケート(12月)84.9%…数値の結果から、約85%の児童が「学びが面白い」と考えていた。また、7月と比べて、大きく変化はなかった。</li> </ul>	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の定着を図る。</li> <li>「わかった」「できた」と思える授業になるよう、アンケート調査から、児童の実態をより深く把握する。</li> <li>「学びが面白い」と感じることができる授業にするために、組織的な教材研究を行い、授業の質の向上を図る。</li> <li>児童の生活の経験と授業を結び付け、児童が学習する意義や目的をもてるよう、授業づくりを行う。</li> </ul>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉」の習得をねらった言語活動を効果的に取り入れた授業づくりをする。</li> <li>低・中・高学年の、効果的な言語活動による読む力の育成に重点をあてて教材研究をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査の国語科の結果の40%未満の児童10%以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査(福山市学力定着状況調査)の国語科の結果40%未満の児童の割合は、4、5年トータルで22.5%</li> </ul>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉」の習得をねらった言語活動が効果的なのだったのか、授業の中で適用問題、小テストや振り返りを行い、学力定着の検証を行う。</li> <li>低・中・高学年の、効果的な言語活動による読む力の育成に重点をあてた教材研究を進め、今後は40%未満の児童の授業後の変容を見取る必要がある。</li> <li>学びタイムや家庭学習では、児童の実態に応じた課題を示し、既習事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査の国語科の結果40%未満の児童割合は、学校全体で13.7%であった。</li> <li>…目標は達成できなかったが、授業での工夫や学びタイムでの反復学習に一定の成果が見られた。</li> </ul>	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びタイムでは、重点問題を決め、反復学習を行い、学力の定着を図る。</li> <li>授業づくりポートフォリオを通して、個別の課題を見取り、児童のつまずきを改善するために、個別に指導や声かけを継続する。</li> <li>学力向上プロジェクトを通して、月ごとに目標や取組等の計画を立て学力向上を図る取組を継続する。</li> <li>日々の授業では、文章の読解力を上げるために、音読活動を充実させる。</li> </ul>
3	誰もが自分らしく学ぶことができる学校づくりに貢献できる。	★	継続	学校生活をよりよくするために、自分たちが	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活や行事等、コミュニケーションの機会や学校生活の成果や課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会や委員会、各学級から全校へ取組の発信や、学校生活をよりよくしようと主体的に行動している児童の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送等を活用し主体的に行動しようとしている児童の紹介を月に2、3回程度実施</li> <li>委員会の取組を通</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会や各委員会同士の繋がりを作り、取組内容の強化をし、少しでも多くの児童の肯定的評価を行えるよう工夫す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送や掲示等を活用し主体的に行動しようとしている児童の紹介を月に2、3回程度実施</li> </ul>	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会や各委員会同士の繋がりを作り、取組内容の強化をし、全学年の児童へ肯定的評価を行うことで、学校全体の指示的風土の醸成を目</li> </ul>

			<p>できることを考え行動することができる。</p>	<p>題を共有する機会を設定し、相手意識・美意識が高まるよう取り組む。</p>	<p>紹介(評価)を月に5回以上</p>	<p>して、各学級を評価する放送月に1、2回程度実施</p>			<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員からの放送を行うなど、評価の機会を増やせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の取組を通して、各学級や児童を評価する放送を月に1、2回程度実施</li> </ul>				<p>指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会、委員会の活動を紹介する集会を計画する。</li> <li>・教職員からの肯定的な放送を行うなど、評価の機会を増やせるようにする。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスアンケートを実施し、アンケート結果から児童の学校適応度を見取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活満足感」の因子得点が40以下の児童5%以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活満足感」の因子得点が40以下の児童の割合、11%</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントアンケートとアセスメント会議の結果を踏まえ、抽出した児童に対する支援策を組織的に行う。また、職員会議等で進捗状況の把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活満足感」の因子得点が40以下の児童の割合、4.7%</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント会議の結果を踏まえ、抽出児童に対する支援策を組織的に行う。</li> <li>・アセスメントアンケートの結果を有効に活用できるように、アセスメント会議の意義等についての研修を継続的に行う。</li> </ul>
3	自ら進んで健康保持、体力向上に努める。	継続	<p>健康診断、体力テストの結果等から、自らの健康について課題意識をもち、改善に向けて取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断、体力テスト等の結果から、児童自身の課題を明確にし、改善するための取組内容・方法を決めて実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の健康面・体力面の課題を明らかにし、改善計画を作成し、実行している児童85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「自分は、健康診断、体力テストの結果から、目標をもって、取り組んでいる。」(7月)80.5% …「チャレンジメディア」や夏休み課題「体力アップカード」の取組を通して、自身の課題を見付け、改善に向け取り組ませた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活リズムアンケート」の結果等から、メディアの使い方や就寝時間についての課題を、教職員同士で確認し共通意識をもった上で、継続的に児童・保護者に生活の仕方について呼びかけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート(12月)75.3% …「チャレンジメディア」の取組を通して、目標をもって取り組む児童の姿が見られた。しかし、取組や声かけが継続的に必要である。</li> </ul>	3	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各取組で明らかになった健康や体力についての課題を、教職員同士で再度確認し、共通意識をもった上で、引き続き児童・保護者に働きかける。</li> <li>・取り組み後、定期的に自分の課題や目標を振り返るなどし、継続的に児童が自分の生活を見つめ直すことができるようにする。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に全校遊びや体力づくり週間を企画し、継続した体力づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツが「好き・やや好き」と回答する児童85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「自分は、スポーツや体を動かすことが好きである。」(7月)80.8% …運動会等の体育的行事や、休憩時間の外遊びを実施することができた。 …全校遊びや体力づくり週間等の取組は定期的な実施で</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育委員を中心に校内遊び等を計画し、児童が体を動かす楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・体力づくり週間を企画し、継続した体力づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート(12月)77.7% …全校遊び、なわとびタイム等を通して、継続した体力づくりに取り組むことができたが、運動が好きな児童を増やすことはできなかった。</li> </ul>	3	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会や体育委員会を中心に校内遊び等を行ったり、体育的行事を行ったりして、児童が体を動かす楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・体育科の授業では、習熟度に応じた活動や運動遊びを取り入れることで、楽しみながら運動することや運</li> </ul>

